

なにわE C Oスクエアを拠点とした新たな連携・協働の仕組みについて

- ◆生物多様性の保全に向けて、市民・環境NGO／NPO・民間事業者・行政など、大阪市に関わる人々が目標を共有し、その実現に向けて協働で取り組んでいくことが必要
- ◆そのためには、生物多様性に関する取組をしている人達だけでなく、できるだけ多くの人を巻き込んで、取り組むことが重要
- ◆大阪市には環境局をはじめ、市民団体、事業者団体で構成しているなにわエコ会議があり、パートナーシップを形成している
- ◆来年度は、なにわエコ会議の中で連携・協働の取組みを行ってはどうか

<参考>「新たな連携・協働」の仕組み概念図

「大阪で暮らす人・働く人・学ぶ人、大阪市を訪れる人の役割」

- ・生物多様性に配慮した環境にやさしいライフスタイル、ビジネススタイルの実践
- ・地域の環境保全活動への参加
- ・生物多様性に関する学習
- ・市が実施する施策への協力・提言
- ・大阪市の魅力発信

※ 昼夜間人口比率の高さなど本市の特性を踏まえて、市内に暮らす人に加えて、市外からの通勤・通学者を含めて「市民」として位置付けます。

「民間事業者の役割」

- ・生物多様性に配慮した環境にやさしい企業経営の実践
- ・生物多様性に配慮した製品・技術の開発、サービスの提供
- ・地域の環境保全活動への参加・協力
- ・従業員への教育
- ・市が実施する施策への協力・提言

「環境NGO/NPOの役割」

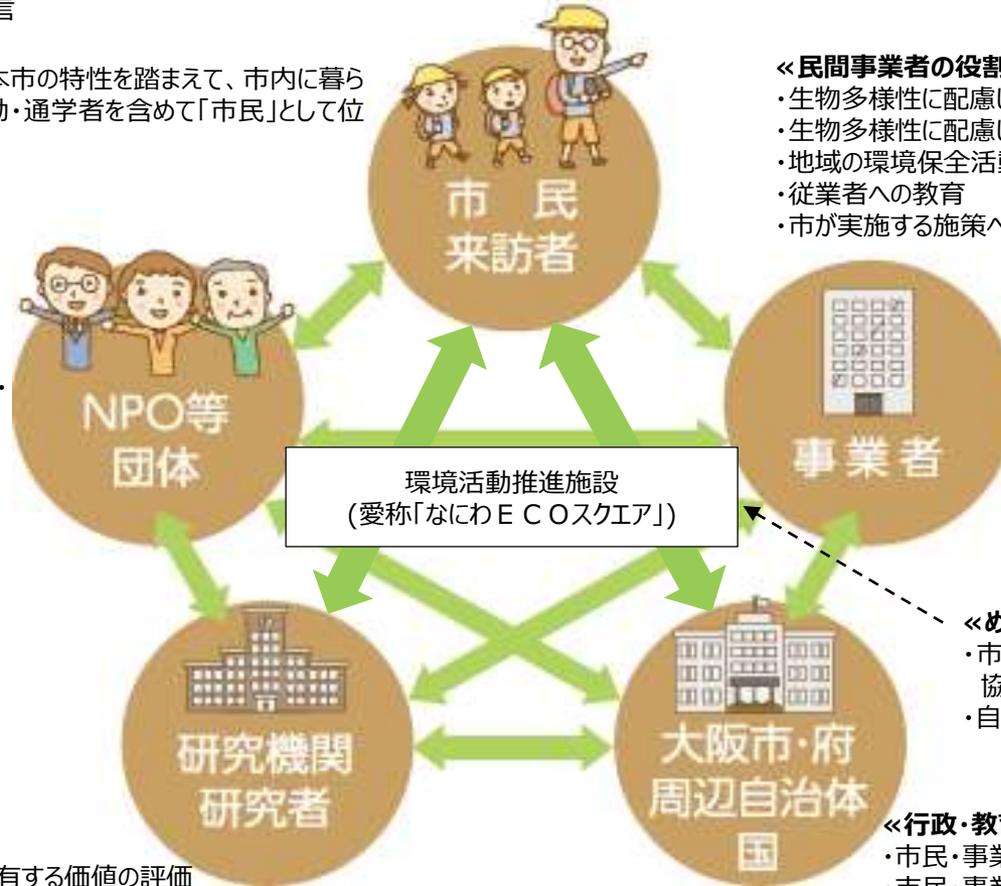
- ・地域の環境保全のための活動の実践
- ・市民などへの行動促進のための環境教育・環境学習や環境啓発の実践
- ・多様な社会サービスの提供
- ・地域社会の活性化への貢献
- ・市が実施する施策への協力・提言

「研究機関・研究者の役割」

- ・未解明現象の解明
- ・生物多様性や生態系サービスが有する価値の評価
- ・研究成果の社会への還元
- ・科学的知見からの政策などへの提言
- ・生物多様性に関する研究開発や技術協力などへの貢献
- ・次代を担う研究者や技術者の養成

「行政・教育機関の役割」

- ・市民・事業者にも率先した取組みの実践
- ・市民・事業者などの取組みへの支援
- ・学校園における環境教育
- ・環境に関するわかりやすい情報の発信
- ・市民などが環境について学習できる場・機会の提供
- ・各主体の行動促進のための協力・連携
- ・環境保全施策の総合的な展開



「めざすべき役割」

- ・市民をはじめ様々な主体との連携、協働の拠点として活用
- ・自然体験観察園での体験学習